



# 横浜訓盲学院 だより

第45号 (2019年3月号)

2019年2月28日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : [jimu@kunmou.jp](mailto:jimu@kunmou.jp)

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710

医療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



## 今に生きる今村貞子名誉学院長の精神

学院長 中澤 恵江

2019年1月14日、今村貞子名誉学院長が召天されました。享年93歳でした。

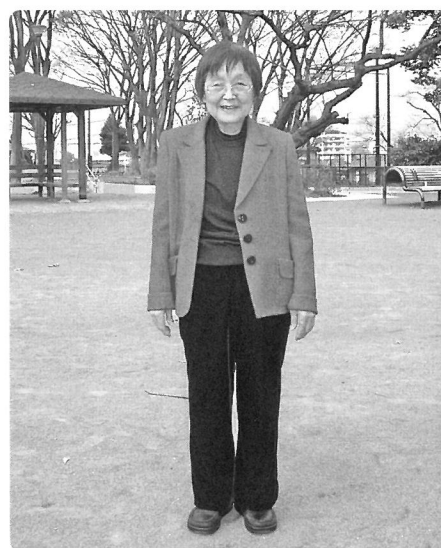
今村幾太初代学院長の長女として1925年に誕生した貞子先生は、1948年にアメリカに留学し、1962年にハーバード大学より博士号を授与されました。研究テーマはパーキンス盲学校に在籍する盲幼児と同地域の晴眼幼児の比較発達研究でした。アメリカでの研究や人脈は、転換期にあった横浜訓盲学院に改革のモデルを提供することになりました。

時は1960年代半ばから70年代初頭。日本では重複障害を有する子どもたちは学校教育から制度的に排斥されていました。横浜訓盲学院も例外ではありませんでした。

しかし隣接する福祉施設には家庭で対応が困難になった盲重複障害児が多く入所していました。その子どもたちの日々の活動を豊かにするべく一人奮闘していたのが現学院理事長の埴忠蔵先生でした。通常の学年割の教室や担任制では対応できないと認識していた埴先生は、貞子先生にアメリカの実践について熱心に問いかけました。それに呼応して貞子先生がたどりついたのが、無学年制とチームティーチングによる重複障害児教育でした。

アメリカの優れた実践者を横浜に招き、教員全員が研修を受け、新たな体制で重複障害教育を先進的に行う学校として、横浜訓盲学院は生まれ変わっていきました。この新しい考え方と方法は、当時多くの大学教授たちから嘲笑と懐疑の目で迎えられたそうです。しかし貞子先生の理論的支えと、実践的挑戦を担った若き日の埴理事長の働きにより、半世紀がたった今も、このあり方は学院の土台となっています。

学院の日々の実践の場に、貞子先生の精神は今も生き続けています。



「わたしの隣人とはだれですか」

ルカによる福音書10章29節

《3月の聖句》 その人を助けた人です。



## 合同遠足

10月19日(金)



10月19日(金)に、幼小グループと小学部の合同遠足で「横浜美術館こどものアトリエ」へ行きました。お湯袋や粘土、新聞紙プール、絵の具コーナーがあり、それぞれの素材を使い、全身でアートを味わってきました。広い空間でのびのびと、手足を使って段ボールの壁に絵の具を塗ったり、粘土の山の上でジャンプしたり、新聞紙の海を泳いだりと、子どもたちはもちろん、大人も一緒になって楽しみました。

食後は、部屋が音と光の世界へ様変わりしました。ゆっくりと過ごしながら楽器の音に耳を澄ませたり、ビーズクッションの上でゴロゴロしたり、カラフルな光に夢中になったりと、思い思いの活動ができました。一日を通して、普段ではなかなか体験できない貴重な時間を過ごすことができました。



## 茶の湯体験

11月29日(木)



11月29日(木)、今年で3年目となる「茶の湯体験」は、松村亮太郎先生のお茶室に行くグループと、学院内で実施するグループの2組に分かれて行ないました。

松村先生のお茶室 SHUHALLY は関内駅前のマンションの一室にあり、ドアを開けて一步足を踏み入れると、そこは別世界。畳の香りに生徒たちの雰囲気はすぐ変わりました。いつもとちがう緊張感の中、紅葉が美しい庭が見える待合室で心の準備をし、足元の敷石を進み、にじり口から1人ずつ小間(茶室)に入りました。

四畳半ほどの小間の中央にある炉を囲み、炭の温度や音、先生が点てるお茶の音に耳を傾けながら正座などで待ち続け、お抹茶と美味しい和菓子をいただくことができました。

一方、学院では先生と一緒に和やかな雰囲気のもと、先生が点ててくれたお抹茶と美味しい和菓子を味わい、楽しむことができました。



## 視覚障害

ミニ知識

## 盲人マラソン

日本各地でマラソンがブームとなっており、視覚に障がいのある方も伴走者と一緒に走っている方が大勢います。

盲人マラソンでは、伴走者が障がい者ランナーと一緒に走り、視覚障がい者の目となり方向を伝えたり、障がい物を避けたりする役割があります。伴走者として大切なことは、視覚に障がいがあるランナーが安心して走れるように安全を確保しながら、周囲の状況を説明することも必要となります。

ランナーが走りやすいようにフォームや走路、ペースに気を配ること、走路での水分補給も必要です。また、目標を持って走れるようにタイムを管理することも大切になります。

その他、現地までの移手段のサポートや、会場やコースで、周囲の状況などにより必要なお手伝いをすることもあります。そして何よりも必要なことは、伴走者が42.195kmを走れることです。

フルマラソンだけでなく大会によって5km、10kmなどの種目もありますので関心のある方は、各地域の陸連などに問い合わせてください。伴走練習会なども行なわれています。





## クリスマス礼拝・祝会

12月22日(土)



12月22日(土)に、クリスマス礼拝・祝会が行われました。今年度のクリスマス祝会では生活科がページントを担当しました。当初は生徒が4名ということで、寂しい舞台になってしまわないか、練習が足りるかを心配していました。ところが、練習を始めると生徒はそれぞれの得意なこと、学んだことを発揮し、しっかりと自身の役割を担ってくれました。

本番間近のリハーサルでは教員よりも生徒の方が落ち着いて演技をするまでになっていました。本番前日のホームルームでは、生徒に「明日の本番では、みんなで先生たちを助けてくださいね」と伝えたのですが、当日は本当に頼もしい姿を祝会の舞台上で観て頂けたことと思います。4人しかいないページントではなく、この4人だからこそ出来た

ページントだったのではないのでしょうか。



## 学校開放「餅つき大会」

1月26日(土)



1月26日(土)、横浜訓盲学院の新年の恒例行事である「餅つき大会」が行われました。

大人用のうす、子供用のうすで餅つき体験、つきたてのお餅をのり餅、あんこ餅、きな粉餅にして味わっていただきました。当日も寒い1日でしたが、ココア、豚汁、甘酒と身体の温まるものを味わいながら過ごしていただけたかと思います。

今年もたくさんの方々に参加をしていただき、また、関係各所よりご支援をいただき、横浜訓盲学院職員一同、心から御礼を申し上げます。

2018年度の横浜訓盲学院学校開放は「移動動物園」が悪天候のため開催されず、「餅つき大会」のみとなりました。次年度もたくさんの方との交流の場として



横浜訓盲学院学校開放を楽しみたいと思っています。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 思うツボ

## 冷えは万病のもと!?

春先はまだまだ寒暖の差も激しく、「体が冷える〜!」と感じる日があるかと思います。そこで今回は体の冷えについてお話しさせていただきます。冷えの原因には冷たいものの取りすぎや、血行不良など様々あります。皆さんはご自身の冷えの原因が何かご存知ですか。冷えを放置しておく大変なことになってしまうかもしれません。冷えは血流を悪くし、体の各器官に栄養を運べなくなってしまうだけでなく、老廃物も溜まったままになり機能が低下し、免疫も下がってしまいます。つまり何らかの病気につながる可能性が高いと言えます。では、どの様に冷えを予防すればよいのでしょうか。一つ目は運動です。運動することで基礎代謝を上げるとよいです。

運動も様々ありますが、ポイントは継続して行える自分に無理のない運動選びです。二つ目は食事です。食材にも体を冷やすものと温めるものがあるので、食材選びや調理の仕方を工夫してみるのもよいです。冷え性の方は食べ物にも意識を向けてみてはいかがでしょうか。そして何よりも、こころを温め、病気にならないぞ! という気持ちが大切です。



## PTAバザー

11月17日(土)に毎年恒例のPTAバザーが開催されました。3年ぶりの快晴となった中で実施することができました。

普通部では、幼児・児童・生徒が作ったお菓子や野菜をはじめ、手作りの製品などを販売しました。

理療科では、毎年好評のクイックマッサージやボウリングなどを行いました。

保護者ブースでは、キャラメルポップコーンやフランクフルト、わたあめなどを販売しました。

毎年、多くの方に来場していただいておりますが、今年



は天候も良く、普通部、理療科、講堂の雑貨販売ともに多くの方に来場していただき、大盛況のPTAバザーとなりました。

ワタミさん、フラワーショップタチバナさん、地域作業所のわくわくわ〜くさん、デイセンターつぼみさん、ボランティアの方々をはじめ、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



## 国家試験について

1993年より、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師は、厚生労働大臣によって免許が与えられる国家資格になりました。その第27回目となる今年度は、2月23日にあん摩マッサージ指圧師、24日にはり師・きゅう師という日程で行われます。

国家試験では150~160問の問題を解答し、60%以上の得点で合格となります。難しい内容ですが、受験者は3年間の集大成として、力を出し切ってほしいと思います。

今年度は2名の生徒が現役受験生として国家試験に挑みます。合格発表は、3月26日です。合格を目指し、理療科一丸となって当日を迎えたいと思います。

## 《今後の行事予定》

- 3月** 1日(金) 普通部保護者参観日
- 12日(火) 心魂 デリバリーパフォーマンス
- 14日(木) 普通部卒業おめでとう会
- 18日(月) 理療科生徒会送別会
- 19日(火) 2018年度卒業式・修了式
- 20日(水)~春休み
- 4月** 1日(月) 理療科新入生オリエンテーション
- 8日(月) 2019年度入学式・始業式

## 《2019年度生徒募集》

- ◎募集定員(各部若干名)
  - 【普通部】 幼稚部・小学部・中学部  
高等部普通科・専攻科生活科
  - 【理療科】 高等部専攻科保健理療科  
高等部専攻科理療科
- ◎募集期間《二次募集》  
普通部、理療科ともに3月8日(金)まで随時
- ◎お問い合わせ  
代表 TEL.045-641-2626

## 院外臨床実習のご案内



院外臨床実習とは、学院臨床室以外の場所で生徒たちが行なう実習です。日頃の感謝の気持ちを含めて、毎年、学院周辺の町内会館にてマッサージを行なっています。是非ご利用下さい。

- 2019年**
- 3月 4日(月) 鷺山竹之丸町内会館
  - 5日(火) 豆口台上町会館
  - 6日(水) 柏葉町内会館
  - 8日(金) 大和町・立野町内会館
  - 14日(木) 麦田地域ケアプラザ

時間 9時30分~11時30分 料金 無料

お問い合わせ先▶各町内会まで

## —ご協力のお願い— 〔2019年度 賛助会員〕

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしく願い申し上げます。

- 【年会費】 団体会員(1口)10,000円/個人会員(1口)1,000円(口数は問いません)
- 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)  
・現金
- 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。  
・寄付金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。
- 【お問い合わせ】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626